

事業番号	09 04 07	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	S25 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 2-5 地域に根差した産業の振興				

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 本県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における自然生態系の生産力を利用した水産資源の増殖や、特徴のある漁場づくりなどにより活力ある漁協経営を実現するとともに、消費者や実需者から求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現を目指す。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 河川湖沼における水産資源の保全・増殖の推進、漁協の健全かつ適正な運営確保に向けた指導 水産業の振興に資する試験研究・技術開発、養殖業者や漁協に対する技術指導、県オリジナル種苗等の生産・供給等 	
令和3年度の点検結果 ・ 現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 魚食性鳥類等による魚の食害の発生 高齢化等による漁協組合員の減少や遊漁者数の減少により、漁協経営の体質強化が必要 養殖現場における魚病の発生等により生産性が低下 	<ul style="list-style-type: none"> 魚食性鳥類等による食害を低減させるために、引き続き漁協が行う駆除活動等に対して支援を行い、漁業資源の有効活用を進める。 経営改善講習会の開催や遊漁者増加に向けた優良事例等を参考に、特徴のある漁場づくりを進め、漁場を活性化することで漁協の経営安定を図る。 儲かる養殖業の実現を目指し、科学的知見に基づく技術的支援を行うことにより、生産性を向上させる。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ✓信州サーモン、信州大王イワナのブランド化に向けた種苗生産・供給 <ul style="list-style-type: none"> 実需者等のニーズに応えブランド化を図るため、信州サーモンと信州大王イワナの稚魚を生産し県内の養殖業者に安定供給 令和4年度は、信州サーモン40万尾、信州大王イワナ7万尾を生産 ✓諏訪湖におけるワカサギ等有用資源の増殖技術の開発 <ul style="list-style-type: none"> ワカサギの採卵量を安定させ資源の増殖を図るため、湖産親魚を用いた新たな増殖技術を開発 テナガエビの種苗の大量生産技術を開発するとともに、諏訪湖に適した資源の管理方法を確立 ✓カワウ等の食害防止に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> カワウやブラックバス等の外来魚等による魚の食害を防ぐため、漁協が行う追払いや駆除等の取組を支援
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	該当なし

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	信州ブランド魚の生産量	t	450	↘	355	↗	390	485			要求 108,642	予算案	
2	R4年までに対応する試験研究課題の達成率	%	24	↗	40	↗	48	100	119,925	92,833			
3											要求 108,642	予算案	
4											要求 66,679	予算案	
5													
									合計(A)	118,743	92,833		
									うち一般財源	77,271	51,803		
									決算額(B)	112,798			
									職員数(人)	29.5	29.5	29.5	
設定理由	成果指標	1.信州ブランド魚の生産拡大と県内養殖業の振興に向けて、その目標として設定 2.水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上等に向けた試験課題への対応状況を評価できる指標として設定											
	目標値	1.食と農業農村振興計画に掲げる目標値で、計画基準年の平成28年に比べて生産量を4割拡大させるとして設定 2.試験研究ステップアッププログラムに掲げる技術の開発割合で、計画に掲げた試験課題(25項目)全てについて技術開発するものとして設定											

事業番号	09 04 07	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水産振興事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	外来魚等食害防止対策事業	1,852 千円	1,766 千円	要求 予算案 1,686 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するため、調整等事務を行う。	
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚等による漁業被害防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助(補助先:漁協等)を行う。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	諏訪湖環境改善対策事業	74 千円	74 千円	要求 予算案 70 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	漁場活性化のための取組検討	直接	漁場の活性化のための取組についてアドバイザーから助言を得る。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	漁業指導事業	1,600 千円	1,588 千円	要求 予算案 1,752 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	漁業指導調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、内水面漁場管理委員会を開催する。 適正な漁場管理を図るため、漁業協同組合の法令遵守等を指導するとともに、漁協の経営改善に向けた講習会を開催する。	
2	組合検査指導事業	直接	健全な漁協運営を図るため、漁業協同組合の業務、会計状況の検査(31漁協等)を実施する。	
3	漁場利用調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、漁業権者の申出に基づく協議会を開催する。	

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	水産試験場運営費	70,798 千円	45,409 千円	要求 予算案 59,860 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の円滑な運営のため、保守及び維持管理、予算の執行を行う。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	水産試験場試験研究費	16,357 千円	14,691 千円	要求 予算案 16,862 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	増養殖技術の改良・確立	直接	増殖技術の高度化のため、以下の試験研究を行う。 ・アユの疾病対策 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発 ・特定疾病対策研究 ・ワカサギ等の遊漁利用技術開発 ・マス類における重要疾病リスク管理技術開発	
2	市場性の高い品種の開発	直接	品質の良い養殖魚を生産するため、以下の試験研究を行う。 ・信州ブランド魚の開発・品種改良 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験	
3	水産環境の保全	直接	水産資源の保護培養のため、以下の試験研究を行う。 ・外来種防除技術開発 ・諏訪湖有用水産資源増殖技術開発	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
6	水産試験場技術指導費	3,978 千円	4,039 千円	要求 予算案 3,827 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	養殖漁業指導	直接	養殖業の発展を図るため、魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する指導及び養魚場巡回指導を行う。また、養魚技術講習会を開催する。	
2	河川湖沼漁業指導	直接	河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導、増殖手法の普及や漁場管理の指導を行う。また、漁場管理講習会を開催する。	
3	寒天製造技術指導	直接	良質な天然寒天の安定生産を図るため、製造期の巡回指導、原藻の性状分析、製品等の依頼分析を行う。	

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
7	水産試験場種苗開発費	25,092 千円	25,092 千円	要求 予算案 24,585 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	ニジマス種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・ニジマスバイテク種苗の供給 全雌・三倍体卵130万粒、不用魚100kg
2	在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・信州サーモン種苗等の供給 信州サーモン稚魚40万尾 信州大王イワナ稚魚7.0万尾、イワナ普通稚魚2万尾、イワナ受精卵2万粒
3	アユの種苗供給	直接	河川における水産資源の増大、養殖魚の品質向上のため、以下の種苗供給を行う。 ・アユ種苗の供給 稚魚50万尾、大型稚魚10万尾
4	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	河川湖沼における水産資源の増大、養殖魚の品質向上、特産魚普及のため、以下の種苗供給を行う。 ・シナノユキマス種苗の供給 ふ化仔魚80万尾、稚魚10万尾、未成魚600kg ・コイ科魚類種苗の供給 ウグイ受精卵200万粒、ウグイ稚魚40万尾、ウグイ大型稚魚200kg フナ親魚1.2トン